



# 山添藤真

ヤマゾエ トウマ

無所属

# 山添藤真

ヤマゾエトウマ

## ごあいさつ

私は皆様から与えて頂いた包摂的な社会環境のなかで、幼少期より快活に育って参りました。これまでに皆様から頂いた暖かいご支援なくしては、自分の人生を切り開く勇気を持つこと、人を信じることの大切さを知ること、そして故郷を愛する力を持つことは出来なかったことでしょう。私は皆様に教えて頂いた生きる姿勢、伝えて頂いた豊かな文化や伝統を含めた社会環境を未来へと託す役割を一身に担っていく決意です。

## みんなを幸せにしたい

私達は高い経済成長を基礎とした幸せの構図を描くことが困難な時代を生きています。では、私達はどのような幸せを求め、どのような幸せに生きるための社会環境を求めることができるのでしょうか。現在の私達が描く幸せの構図は多様であり、今後も多様化は進んでいくことでしょう。ですが、私達が幸せに生きるために必要な社会環境はある程度、共通しているのではないのでしょうか。私は皆様が幸せに生きるために必要な社会環境を整えていきたいと思っています。

## 3本の柱

### 包摂的な地域社会

京都府北部におきましても、少子高齢化や人口流出等の影響を受けまして、これまで家族や地域社会が担ってきたお互いが支えあう機能が失われた結果、地域社会から孤立してしまう人々や地域社会内でのコミュニケーションが低下している地域を認めることができます。

私は旧村時代の名残が残る隣組や自治会の機能を基軸として、大きな風呂敷で包み込むように、できるだけ多くの人々を社会に包み込んでいくことのできる地域社会のあり方を提案致します。

### 充実した社会保障

多くの人が多大なる幸せを享受できていたとしても、それが一部の人の不幸の上に成り立つものだとすれば、それは決して公正な社会ではなく、安定した社会でもありません。また不幸という概念自体には病気、失業、精神的不安定等々、大抵の場合は誰にでも不幸であると合意できるのに対して、前述致しましたように幸せにはかなり個人の価値観が入り込む余地があります。私は多分に個人の価値観に依拠する幸せを最大化しようとするよりも、不幸な状態にあると思える人の数を最小化するという観点から、社会保障サービスを充実したものにしていこうと努力致します。

### ゆるやかな経済成長

高度経済成長期を経て、成熟した社会を形成する私達が選択しうる経済活動のモデルはおそらく一つです。

特化した技術や資源を世界に向けて発信していきながら、内需型経済を形成し充実させていくというモデルです。

京都府北部は世界に誇れる高い技術や素晴らしい資源を含有した地域です。

私はその高い付加価値を生むことができる地域の力を世界に伝えていながら、地域生産地域消費の意識を高めていくことでゆるやかな経済の成長は可能だと考えています。

## 略歴

山添藤真 (やまぞえとうま)

1981年12月23日生(満28歳)

与謝野町立岩滝小学校、与謝野町宮津市組合立橋立中学校、京都府立宮津高等学校

2002年渡仏

(1)フランス国立建築大学パリ校、(2)フランス国立高等社会科学研究所パリ校

2009年帰国

(3)東京都永田町所在の財団法人尾崎行雄記念財団主催琴堂塾21に入塾

現在、与謝野町在住

\* (1)では建築デザイン、建築思想を学び、(2)では公共空間に関する研究を行いました。

(3)では日本の社会問題、政治問題等を学びました。

皆様の疑問、ご意見等がございましたら

下記の連絡先にご連絡下さい。

私は皆様のお声に耳を傾け、問題解決に向けて精一杯の努力をしていくことをお約束致します。

## 連絡先

山添藤真事務所

〒629-2263

京都府与謝郡与謝野町字弓木493番地

TEL: 080-2077-4591

EMAIL: toma.yamazoe@gmail.com